

学校給食の提供に関する検討委員会について（中間報告）

1 検討委員会の概要

(1) 組 織

- ・ 委 員：学校教育部長、教育総務課長、教職員課長、教育施設課長、幼保運営課長、
浜松市献立作成委員会委員長（校長）
- ・ 有識者等：学識経験者（大学教授）2 名、市立小中学校の保護者 1 名

(2) 設置期間

- ・ 令和 7 年 1 月 3 1 日～令和 8 年 3 月 3 1 日

(3) 検討事項

- ・ 適切な栄養摂取量等の基準に関する事項
- ・ 食材選定及び提供方法等に関する事項
- ・ 食材にかかるコストの適正化に関する事項
- ・ 食材費の保護者負担額に関する事項 等

2 背景・経緯

- 令和 4 年度～ ・ 学校給食用食材の価格高騰に対して、国の交付金を活用することで、保護者負担を据え置き。
・ 学校の栄養教諭等は、栄養バランスや量を保持するため、献立作成や食材調達等の工夫により対応。
- 令和 7 年 3 月 ・ 包括外部監査において、栄養摂取基準値を満たす献立を提供できるよう努める必要があるとの意見。
- 6 月 ・ 国は、「経済財政運営と改革の基本方針 2025」において、令和 8 年度予算の編成過程で（小学校における）給食無償化を実現すると明記。
・ 本市は、「令和 8 年度国の施策及び予算に関する提案・要望」において、自治体により異なる給食提供の実態や保護者負担額などにも十分考慮した無償化の制度設計や地域特性や食育の観点等を踏まえた自治体支援策を要望。

3 現状

(1) 学校給食費（1 食当たり） ※令和 7 年度、[]内は 2 学期の期間に限る。

金額／校種	小学校	中学校
保護者負担額	299 円	364 円
支援額（交付金）	26 円 [29 円]	31 円 [34 円]
計（食材費）	325 円 [328 円]	395 円 [398 円]

(2) 栄養摂取量（1食当たりエネルギー量） ※令和6年度包括外部監査報告書より

cal／校種	小学校	中学校
調査実施校の平均 (令和6年10月)	581.7 kcal	757.2 kcal
基準値※ (適正範囲)	650 kcal (585～715 kcal)	830 kcal (747～913 kcal)

※「学校給食摂取基準」の基準値

4 検討委員会での協議

(1) これまでの協議内容

日程	議題・協議内容	主な意見等
第1回会議 (R7. 2. 21)	- 本市の学校給食の現状、他自治体との比較（事業概要、栄養摂取量、給食費、物資調達方法等） - 本市の学校給食の課題	- 地場産物の使用による食材費への影響の程度を示してほしい。 - 物資調達方法の違いによる食材費への影響を示してほしい。
第2回会議 (R7. 7. 10)	- エネルギー摂取量と食材費（物資価格の状況、必要な食材費の試算、食材費抑制のための取組や工夫等） - 提供コストの適正化（地場産物の使用と価格、物資調達方法と価格、物資調達の流れ、米飯提供コスト等）	- 地場産物の使用減には、教育効果を上回るだけのコスト削減効果はない。 - 現状、米飯提供方法の変更が最も効果的なコスト削減策だと思われる。 - 給食費（保護者負担額）が増えても子供が満足する給食の提供を望む保護者が多いのではないか。

(2) 今後の予定

日程	議題・協議内容（予定）
中間報告（R7. 8. 20）	市民文教委員会
第3回会議（R7. 9. 9）	- 望ましい栄養摂取量の基準と必要な食材費 - 提供コストの適正化（米飯提供方法の変更計画等） - 保護者意見の聴取方法 等
第4回会議（R7. 12 予定）	食材費の費用負担 等
最終報告（R8. 1 予定）	市民文教委員会